

第4分科会 教育環境【協働】

「支えよう！子どもたちの夢と希望 見せよう！大人の背中」

熊本県水俣市立水俣第二中学校 P T A

1 はじめに

水俣市は熊本県の最南端に位置し、南を鹿児島県出水市と接している。平成23年度の水俣市中学校再編により、現在は中学校4校、小学校7校が設置されている。

本校は、再編成により旧水俣第二中学校と旧水俣第三中学校の大部分が校区となった。生徒数は再編成時から60人減少して192人、P T A数は教職員22を含む189である。

校区はJ N C株式会社水俣工場や産業団地等の工業用地、生協くまもと等の商用地といった事業所や商店街が連なる。また、校区の中央を国道3号線が縦断し、学校前は幹線道路が通るなど交通量が多い地域である。さらには水俣湾を埋め立ててできたエコパーク、水俣病資料館、熊本県環境センター、市立図書館等の文教施設を有するとともに、徳富蘇峰・蘆花生家等の文化財も点在する。

2 水俣第二中学校 P T A活動の現状

（1）活動方針

科学技術が日々進歩し社会環境が急激に変化していくこれからの時代、生き抜くための「真の生きる力」を身につけた人材が求められるなか、われわれ家庭、学校、地域の三者は、協力し合って子どもたちを育て、導き、そして見守っていかなければならない。そのためにも、まず、われわれ大人が、子どもたちの模範となり、そして憧れとなるような行動を示すことが大切である。

保護者と教師はお互いの立場を尊重し合いコミュニケーションを深め、そし

て保護者同士も連携を大切にし、地域と一体となって積極的に行動することが、これから P T A活動には不可欠である。そこで、「支えよう！子どもたちの夢と希望。見せよう！大人の背中」を活動方針に、P T A (Parent:親、Teacher:教師、Association:組織)活動から、P T C A (Community:地域社会)活動へ進化した取組を「チーム二中」として進めている。

（2）重点目標

① 家庭教育の充実

- ・家族の団らんを大切にし、家族が一体感をもって子育てにつとめる。
- ・基本的な生活習慣を身につけさせる。(早寝、早起き、朝ご飯、宅習)
- ・「いじめ」の本質を理解し、子どもとともに「いじめ」防止につとめる。

② 共に学ぶ活動の推進

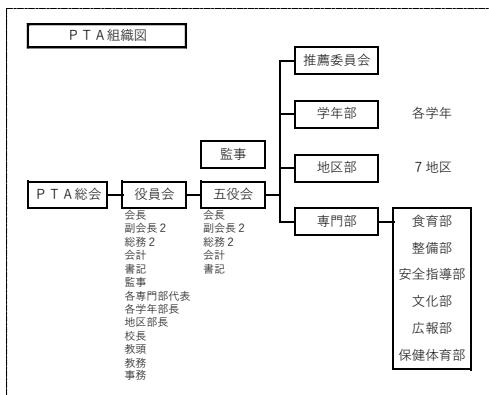
- ・子どもの手本となる行動につとめる。
- ・子どもを育てるための、より良い環境づくりにつとめる。
- ・子どもと共に学び、子どもを理解することにつとめる。

③ 地域と連携した子育て活動の推進

- ・地域の活動に進んで参加する。
- ・地域の方々と連携し、子どもの安全と安心を守る。
- ・あいさつの励行と感謝の心を言葉であらわす。

(3) 組織

本校 P T A は学校再編成の翌年にあたる平成 24 年度から、旧水俣二中と旧水俣三中の保護者間の親交を深めること、学校教育への関心を高めること、負担感を公平にすること等を目的に、全家庭が希望する P T A のどこかの部会に所属する「一家庭一役」として P T A を再編し、現在まで継続している。また、令和 6 年度から規約に従い、卒業した P T A 役員若干名を顧問として置き、活動の継続性を図っている。



3 具体的な実践活動

コロナ禍により休止・終了している活動も含めて紹介する。

(1) 家庭教育について

① スマホのルール作り

水俣二中の生徒指導上の課題は、ほぼすべてが何らかの形で S N S が関係している。契約者としての保護者の責任は大きいがその意識は低い。そこで、年度最初の授業参観を全学級が S N S を題材に実施し、その後の P T A 総会の会長挨拶ではスマホのルール作りについての呼びかけを行った。また、 P T A 主催で S N S に関する講演会を毎年開催している。昨年度は文化祭のプログラムの一つとして実施した。

② P T A 講演会

須崎あゆみ氏（水俣市社会教育委員・水俣市立袋中学校 P T A 副会長）を講師

に招き「私の子育て～泣いて、笑って、感謝して～」と題した、 P T A 本部役員主催の講演会を開催した。他校の P T A 役員も多く参加し、講演後も互いに語り合い余韻が残る会となった。「水俣は一つ」を合言葉に、今後も複数校に呼びかけた講演会を行う予定である。



③ 幼保等、小・中連携

水俣二中校区の 1 つの幼稚園、 3 つの保育園、水俣二小、水俣二中の取組として「基本的生活習慣の定着」のための連携カリキュラム（あいさつと言葉遣い）を作成し、実施している。毎月 11 日に水俣市が行っている「いい朝いいあいさつの日」には P T A も参加し、水俣二小の正門であいさつ運動を行っている。

④ お手伝い大賞

子どもたちに家庭での役割を持たせることを目的に、夏休み前に生徒と保護者で家庭での手伝いの約束事を設定し、夏休み後に記録と保護者からの評価を提出させている。 P T A 役員が入賞者を選考し、副賞は同窓会が提供している。

(2) 学校教育について

本校の学校教育目標は「自立心にあふれ、夢を実現する生徒」である。重点項目の一つを「地域とともにある学校づくり」とし、具体的な取組として、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体化による学校づくりの推進」、「二中校区の幼・保等、

小、中、高連携の推進」、「学校ホームページ、学校便り、配信メール等を活用した学校情報の積極的発信」を挙げており、PTA活動も学校教育目標との整合を図り、支援を行う必要があると考える。

① PTA行事

PTA行事として、1年生は親子SU P体験（雨天時はニュースポーツ）、2年生は立志式、3年生は合格祈願絵馬作り（コロナ禍前は合格祈願餅つき）を行っている。学年主任と連携を取りながら、企画運営は学年委員で行っている。



② PTA花壇

教育環境整備の取組として、これまでも親子美化作業を行っていたが、本年度から学校花壇の一箇所をPTAが担当して花を育てる活動を行うこととした。体育大会の後に、役員で整備を行いヒマワリの苗を植えた。



③ 広報活動

広報活動の充実を図るため、新聞社主催の「PTA新聞・広報紙作り講座」に

広報部員が参加している。また、情報の即時性を重視し、PTA活動の様子は学校ホームページのブログに随時掲載してもらっている。

④ 地域合同文化祭

平成15年から令和元年度まで、学校と校区が合同で文化祭を開催した。学校運営協議会と連携して地域の部の企画を行い、各区への展示物やステージ発表の依頼は地区委員が担当した。地域住民と生徒の交流の場を作ることができた。PTA合唱のみ令和5年度に復活し、今年度も6月に練習を始めている。

（3）社会教育について

本校は市内の各学校に先駆けて、平成23年度にコミュニティ・スクールを設置した。これまで2代の学校運営協議会会长はPTA役員経験者であり、現在の会長は区長と地域学校協働活動推進委員も務めている。水俣第二小学校の学校運営協議会会长もPTA会長経験者であり、PTA活動への理解がある。また、PTA会長は水俣二中と水俣二小の、PTA副会長は水俣二中の学校運営協議会委員にも充てられている。今年度から第1回の学校運営協議会は両校合同で行うこととした。PTAだけでなく、地域や行政を含めて連携し、小中9年間のスパンで校区の子どもを育てる取組を進めたい。

① 親子空き瓶回収

水俣二小PTAと水俣二中PTAが輪番で主査となり、親子空き瓶回収を実施した。労力対効果が年々低くなっていたため、令和5年度に終了した。地域の高齢者の皆様にとって、小中学生との交流を楽しみにしていた行事であったため、内容を変更して地域スポーツ大会等の行事を実施予定である。

② 地域ゴミ分別収集

水俣二中は平成8・9年度に「郷土の自然を愛し、思いやりのある生徒の育成～水俣に根ざした環境教育の実践～」を主題に、熊本県教育委員会指定環境教育研究推進校の取組を行った。その実践の一つとして平成8年から始めたのが、地域ゴミ分別収集活動である。これはそれぞれの生徒が住んでいる行政区の地域ゴミ分別収集活動へ参加するものであり、地域住民との交流も目的の一つとしている。実践がテレビ放送や教科書への掲載、全国的な表彰を受けたこともあり「環境教育の二中」として名を馳せてきた。家庭での分別の習慣づけや活動への参加の呼びかけがPTAの役割である。

(4) 水俣市各単位PTAの実践

水俣市PTA連絡協議会は小学校7校、中学校4校から構成されている。月1度の理事会・役員会、年1度の研修会とビーチボールバレー大会等の行事により実践の共有と懇親を図っている。

令和5年度には芦北町、津奈木町と共同で「第49回熊本県PTA研究大会あしきた・みなまた大会」を開催した。水俣キャンパスは「環境」をテーマに、参加者の満足度の高い大会とすることことができた。水俣市各小中学校PTAの特色のある活動を紹介する。

- ・水俣第一小学校：育友会が企画し、市内の19業種との交渉や運営に関わり、職業体験を主とした「一小まつり」を開催している。
- ・水俣第二小学校：PTA主催事業として二小っ子フェスティバル「職業体験活動」を実施予定。実行委員会を立ち上げ、企画と準備を始めている。
- ・袋小学校：PTAが主体となり職業体験（おしごと発見塾）を開催している。

- ・湯出小学校：PTA準会員である「鶴の子」スクール生（地域の方）と児童と一緒に学習をする時間を設定している。
- ・水東小学校：心肺蘇生法の学習をした上で、プール開放の当番を行っている。
- ・水俣第一中学校：学校正門での参加が難しい方は、自宅付近の通学路でいさつ運動を行っている。
- ・袋中学校：地域の伝統芸能である「棒踊り」や地域の産業である「しらす漁講話」等をPTAの協力で実施。PTA会費や校区後援会からの金銭的援助がある。
- ・緑東中学校：宝川内地区土石流災害の経験を踏まえ、校区の葛渡小・久木野小のPTAと合同で防災教育講演会を行っている。

4 今後の課題

小学校の課題は中学校の課題に直結する。規則正しい生活習慣・学習習慣作り、SNSの正しい利用、いじめ防止等、水俣第二小学校PTAとの家庭教育についての共通実践・協働実践をこれまで以上に進めたい。

PTA離れも聞こえるが、一人一役についても無理のない範囲で協力をいただいている継続できている。持続可能な取組にしていくために、活動方針と照らしながら労力対効果の視点で見直していくことも必要である。

5 おわりに

令和元年度末から4年度の3年に亘るコロナ禍により、対外的な交流を伴うPTA活動は大きく制限せざるを得なかった。しかし、このことはこれまでの活動が学校、保護者それぞれにとって大きな負担となっていたいなかったかを精査する良い機会となった。子どもたちと保護者両方の成長を願い、まずは、自分たちがやりたい活動をスタートとして、だれもが参加したくなる水俣第二中学校PTAとなるよう努力したい。